

北見工業大学後援会「KIT げんき会」総会

日 時：平成29年6月26日（月）  
14：45～

場 所：北見工業大学 多目的講義室



# 議 事 次 第

## 1. 開会

## 2. 挨拶

(1) 北見工業大学後援会「KIT げんき会」会長

(2) 北見工業大学長

(3) 北見市長

## 3. 議事

(1) 役員の一部改選について

(2) 平成28年度事業報告、決算報告について

(3) 平成29年度事業計画（案）、収支予算（案）について

(4) その他

## 4. 閉会



北見工業大学後援会「KITげんき会」  
平成29年度役員名簿（案）

- 顧問 辻 直 孝（北見市長）  
" 高 橋 信 夫（北見工業大学学長）
- 会 長 永 田 正 記（オホーツク商工会議所協議会会長・北見商工会議所会頭）
- 副会長 倉 本 登（北見鉄工協同組合理事長）  
" 坂 口 政 義（北見商工会議所中小企業委員会委員長）  
" 西 川 孝 範（きたみらい農業協同組合代表理事組合長）  
" 古 屋 聖 兒（北見医師会会長）  
" 越 膳 良 臣（北見工業大学同窓会顧問）
- 常務理事 吉 田 孝（北見工業大学理事・副学長）
- 理 事 飯 田 唯 勝（北見歯科医師団団長）  
" 石 澤 徳 司（北見地区電気工事業協同組合理事長）  
" 大 野 浩（北見ぼらんち会会長）  
" 海 田 有 一（北海道中小企業家同友会オホーツク支部支部長）  
" 金 田 充 郎（北見信用金庫理事長）  
" 河 合 昭 徳（日本自動車販売協会連合会北見支部支部長）  
" 小 松 正 道（協同組合北見総合卸センター理事長）  
" 佐々木 敏 行（北見舗装協会会長）  
" 清 水 大（北見薬剤師会会長）  
" 辻 好 治（北見観光協会会長）  
" 富 山 佳 男（北見測量設計協会会長）  
" 永 田 裕 一（北見物産協会会長）  
" 久 島 和 俊（北見建設業協会会長）  
" 細 野 拓 朗（北見金融協会会長）  
" 舩 川 誠（北見工業団地会会長）  
" 増 田 悦 郎（北海道獣医師会オホーツク支部支部長）  
" 真 柳 正 裕（北見市商店街振興組合連合会理事長）  
" 山 田 義 久（協同組合日専連北見代表理事）  
" 橘 邦 彦（北見工業大学同窓会顧問）
- 監 事 小 澤 實之郎（北見商工会議所監事）  
" 富 田 剛 夫（北見工業大学同窓会北見支部支部長）

（順不同：敬称略）



# 北見工業大学後援会 KITげんき会

## 平成28年度 事業報告書

### 目 次

|     |                             |    |
|-----|-----------------------------|----|
| 1   | 学生に対する支援                    |    |
| (1) | 語学研修プログラムへの参加旅費の助成          |    |
|     | 台 湾                         | 1  |
|     | ドイツ                         | 11 |
| (2) | 留学生派遣の助成                    | 33 |
| (3) | インターナショナルCアワー開催の助成          | 35 |
| (4) | 留学生交流イベントの助成                | 36 |
| (5) | 就職支援行事の共催                   | 38 |
| (6) | 地域貢献活動、ボランティア活動等を行った学生表彰の助成 | 40 |
| (7) | 図書館配架用学生向け参考図書購入の助成         | 42 |
| 2   | 大学広報等への支援                   |    |
| (1) | 女満別空港広告看板掲出料の助成             | 44 |
| 3   | 北見ぼんちまつり参加者への助成             | 45 |





# 平成28年度 K I Tげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名  
語学研修プログラム参加旅費の助成（台湾）

## 2 事業概要

### (1) 研修先

中国医薬大学北港キャンパス

### (2) 研修期間

2017年3月4日（土）～3月25日（土）

### (3) 助成対象・金額

3万円

## 3 助成対象者報告

|         |  |
|---------|--|
| 所属専攻・学年 | バイオ環境・マテリアル系 1年  |
| 氏名      | 戸邊 佑太  |
| 報告      | <p>今回の語学研修はわずか3週間という短いものでしたが、とても貴重な体験をすることができました。</p> <p>北見工業大学で中国語の講義は受けていたものの現地の人の言葉は早く、聞き取ることはできませんでした。しかし、台湾の人たちはとても親切で、英語や身振り手振りで意思疎通をしてくれ、生活に困ることはありませんでした。さらには台湾の学生と友達になることもでき、スポーツをしたり言語交換をしたりと、とても楽しい時間を過ごすことができました。そして台湾の授業で習った言葉やチューターに教えてもらった言葉をつかいながら、夜市で初めて注文できたときはとてもうれしかったです。</p> <p>また、バスケで突き指をし、大学の付属病院の救急で迅速な処置をしてもらい、助かりました。今回は、引率の先生がいたため、言葉の面で苦労することはありませんでしたが、今後長</p> |

|     |  |
|-----|--|
|     | 期留学に挑戦する際は、けがの対応も自分でできるようにしていきたいと思いました。  |
| 謝 辞 | この研修で得られたものは本当に大きかったと感じます。語学研修の費用は学生の身としては大きな出費ではありましたが、「KIT げんき会」の助成のおかげで負担が軽減されとても助かりました。本当にありがとうございました。 |

# 平成28年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名  
語学研修プログラム参加旅費の助成（台湾）

## 2 事業概要

### (1) 研修先

中国医薬大学北港キャンパス

### (2) 研修期間

2017年3月4日（土）～3月25日（土）

### (3) 助成対象・金額

3万円

## 3 助成対象者報告

|         |   |
|---------|---|
| 所属専攻・学年 | 機械・社会環境系 1年   |
| 氏名      | 山口 天愛   |
| 報告      | <p>私は今まで中国語に関わる機会がなかったので中国語の知識がまったくありませんでした。ですが毎日3時間の授業を受けることで、0からのスタートでしたが、少しは言葉の意味が分かるようになりました。また、中国語がほとんど話せないため、台湾の学生との会話はすべて英語でした。台湾の学生は英語が流暢で私と同じ年とは思えないほどでした。自分の伝えたいことが英語で上手く伝えられなかったことが何度もあり、すごく苦い思いをしました。</p> <p>この研修を通して、英語の大切さを身をもって知ることができました。分からないことはとりあえずジェスチャーで表現したらなんとかなることもありました。</p> |

|     |   |
|-----|---|
| 謝 辞 | 助成金を頂いたことにより、台湾内での移動費や食費にあてることができたので、かなり費用面では助かりました。助成金があることが私を語学研修に行くことを後押ししてくれました。この研修で海外の文化や言語に触れる機会を与えていただいたことに感謝しています。 |
|-----|---|

# 平成28年度 K I Tげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名  
語学研修プログラム参加旅費の助成（台湾）

## 2 事業概要

### (1) 研修先

中国医薬大学北港キャンパス

### (2) 研修期間

2017年3月4日（土）～3月25日（土）

### (3) 助成対象・金額

3万円

## 3 助成対象者報告

|         |   |
|---------|---|
| 所属専攻・学年 | 社会環境工学科 2年  |
| 氏名      | 川崎 大佑   |
| 報告      | <p>私はこの3週間の研修を経てたくさんの人と出会い、多くの経験をさせていただきました。昨年の夏到北京へ行ったこともあって、落ち着いて行くことができました。しかし、中国本土の文字と台湾の文字は少し違って覚えてるのが大変でした。</p> <p>台湾へ来てまず一番に思ったことは、台湾の人は元気で積極的に行動し、とても思いやりのある優しい人たちばかりだということです。中でも、中国医薬大学の学生のチューターの方達には大変お世話になりました。夜市へ一緒に行った時でも、タクシーを呼んでくれたり、お金の収集をしっかりとってくれたりして、とても行動しやすかったです。また、自分の食べ物や飲み物を「食べますか」と差し出してくれたりしました。</p> <p>台湾北港の気候は春先なのに温暖で快適で、毎日のように半袖短パンで外でスポーツなどをして遊びました。毎日の生活が刺激的で最高の経験ができました。中国医薬大学のみなさんや</p> |

|     |   |
|-----|---|
|     | その他のお世話になった皆さんに感謝の言葉でいっぱいです。  |
| 謝 辞 | このたびは KIT げんき会の皆様のおかげで快適な研修を過ごすことができました。当初、去年の夏到北京へ行ったこともあり、経済的な面で厳しいと考えていたのですが、この助成金があると聞いて行くことを決めました。これからの大学生活に今回の研修で得たことを生かしていこうと思います。KIT げんき会の皆さま、本当にありがとうございました。 |

# 平成28年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名  
語学研修プログラム参加旅費の助成（台湾）

## 2 事業概要

### (1) 研修先

中国医薬大学北港キャンパス

### (2) 研修期間

2017年3月4日（土）～3月25日（土）

### (3) 助成対象・金額

3万円

## 3 助成対象者報告

|         |   |
|---------|---|
| 所属専攻・学年 | マテリアル工学科 2年   |
| 氏名      | 大原 将  |
| 報告      | <p>私は今回の台湾研修でたくさんの経験をしました。語学力の向上のほかにも台湾の学生と交流したり、ホームステイで台湾の人々の暮らしを実感したり、その国でしか味わえない空気を肌で感じることができました。日本とは違うことばかりで戸惑うことも多かったですが、中国医薬大学の学生たちの温かい歓迎のおかげでとても楽しい時間を過ごすことができました。</p> <p>特に驚かされたことは、日本との食文化の違いでした。使われている食材や盛り付け方、値段など何もかもが新鮮で食事の時間は毎日楽しかったです。また、現地の学生は積極的に食事に誘ってくれ、各地のおいしいものや名産料理をたくさん紹介してくれました。食事の時間は自分にとって国際交流の場でもありました。</p> <p>しかし振り返ると、すべてがうまくいってわけではありませんでした。時々、自分の言葉がうまく伝えることができておら</p> |

|     |   |
|-----|---|
|     | <p>ず語学力のなさを痛感したり、北見との寒暖の差からか体調がすぐれない時もありました。そのようなときも一緒に行った仲間たちや、先生のを借りて最後までやり遂げることができました。このような体験はこの台湾研修でしか味わえないと思います。</p> |
| 謝 辞 | <p>今回、KIT げんき会様の助成のおかげで、かけがえのない素晴らしい経験をすることができました。会員の皆様には本当に感謝の気持ちでいっぱいです。台湾研修への助成、ありがとうございました。</p>                       |



# 平成28年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名  
語学研修プログラム参加旅費の助成（台湾）

## 2 事業概要

### (1) 研修先

中国医薬大学北港キャンパス

### (2) 研修期間

2017年3月4日（土）～3月25日（土）

### (3) 助成対象・金額

3万円

## 3 助成対象者報告

|         |  |
|---------|--|
| 所属専攻・学年 | 機械工学科 2年   |
| 氏名      | 嘉多山 和希   |
| 報告      | <p>私は、今回の語学研修で多くの事に驚くことや学ぶことができました。まず、最も驚いたことは、食の文化です。台湾の南寄りの地域では飲み物は甘いものが多く、料理も同じ味付けのものも多く感じました。この体験には大きな衝撃を受け、後に甘い飲み物が多いのは気候によるものであり、味付けは漢方を料理に使用することがよくあるからだと学びました。</p> <p>そのうえ、変わった料理が台湾には何種類もあり、売られている割には食べたことがある人が意外と少ないという現状にも衝撃を受けました。</p> <p>他には、言語についても衝撃を受けました。理由としては、留学先の学校の少なくとも話をした全ての生徒が英語を流暢に話すことができ、ホストファミリーにも話せる人が多かったからです。ホームステイでは、ホストファミリーに日本語を普通に話せる人がいなく、会話をする際に自分の乏しい英語力に</p> |

|     |   |
|-----|---|
|     | <p>かなり悩まされ苦しい思いをしました。そのため、英語の重要性を改めて感じました。</p> <p>今回は、このような体験をでき、本当に良かったと感じました。</p>                         |
| 謝 辞 | <p>今回は、助成して下さりありがとうございました。おかげで、本研修に参加するという決断ができ、経済的な負担をかなり減らすことができました。本当に、この研修に参加できて良かったです。ありがとうございました。</p> |

平成28年度 K I Tげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名  
語学研修プログラム参加旅費の助成（ドイツ）

2 事業概要

(1) 研修先

フライブルク大学

(2) 研修期間

2016年9月1日（木）～ 9月30日（金）

(3) 助成対象・金額

5万円

3 助成対象者報告

|         |   |
|---------|---|
| 所属専攻・学年 | 機械・社会環境系 1年   |
| 氏名      | 松本 日和   |
| 報告      | <p>ドイツでの一か月はあっという間でした。私は、この語学研修が初めての海外旅行で、見るものすべてがとても新鮮で印象的でした。ほかの国からの留学生とシェアしての寮生活や、午前中の授業では、ドイツ語だけでなく、英語もとても欠かせない言語であることを、改めて実感しました。</p> <p>私は、フライブルク大学から提供されていた交流プログラムにはほとんど参加していませんが、自分の希望で行った、ドルトムントでのサッカー観戦や、ボンでの観光がとても思い出に残っています。そして、ドイツだけでなく、フランスのストラスブールやスイスのバーゼルにも行くことができ、ドイツとはまた違う風景をたくさん見ることができました。さらに、ドイツで食べた料理はどれもおいしく、伝統料理、スイーツなど語学研修に参加した学生と一緒に、いろいろなお店に行けたこともとても楽しかったです。そして、一か月間、日本を離れ生活</p> |

|     |  |
|-----|--|
|     | <p>したことで、日本での公共交通機関の几帳面さ、町中の清潔さ、接客の丁寧さが日本独自の文化であることに気付きました。</p>  |
| 謝 辞 | <p>今回はとても素晴らしい経験をする事ができました。この助成があったからこそだと思います。この語学研修に参加したことで、世界について、もっと知りたいと思うようになりました。本当にありがとうございました。</p> |

平成28年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名

語学研修プログラム参加旅費の助成（ドイツ）

2 事業概要

(1) 研修先

フライブルク大学

(2) 研修期間

2016年9月1日（木）～9月30日（金）

(3) 助成対象・金額

5万円

3 助成対象者報告

|         |   |
|---------|---|
| 所属専攻・学年 | 機械・社会環境系 1年   |
| 氏名      | 萩原 大稀   |
| 報告      | <p>私は今回の語学研修で多くのことを学び、体験することが出来ました。私はこれまでに海外に一度も行ったことがなく、行く前は少し不安もありました。ドイツに着いてからも、初めの一週間は授業で先生が何を言っているのかわからないことが多々あり、同じクラスにいる外国人と話したり、一人で買い物に行ったりすることが出来ませんでした。</p> <p>また、レストランなどで水が有料だったり、駅などのトイレはお金がいることなど戸惑うことでいっぱいでした。しかし、徐々に慣れていき、最後の週には一人で買い物に行ったり、友達を作ったりすることが出来るようになりました。帰る時には楽しかったことも大変だったこともありましたが、また行きたいと思いました。そして、ドイツ以外のほかの国にも行きたいと思いました。</p> <p>私は今回の語学研修で日本との文化の違いを知り、興味を持</p> |

|     |  |
|-----|--|
|     | <p>ちました。今後は、いろいろな国の人とコミュニケーションをとれるようにするために、今以上に英語とドイツ語を上達させたいと思いました。私は将来、技術系公務員になりたいと考えており、仕事上で海外の人と会話することは少ないかもしれませんが、上手にコミュニケーションを取れるレベルまでには英語とドイツ語の能力をこれから上げていきたいと思います。</p> |
| 謝 辞 | <p>今回はこのような貴重な経験をさせていただきありがとうございます。今回の語学研修で自分の英語能力の未熟さを知ることが出来たので、今まで以上に英語とドイツ語の学習に力を入れていきたいと思います。</p>   |

平成28年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名  
語学研修プログラム参加旅費の助成（ドイツ）

2 事業概要

(1) 研修先

フライブルク大学

(2) 研修期間

2016年9月1日（木）～ 9月30日（金）

(3) 助成対象・金額

5万円

3 助成対象者報告

|         |  |
|---------|--|
| 所属専攻・学年 | バイオ環境化学科 2年  |
| 氏 名     | 藤井 貴大  |
| 報 告     | <p>私は、今回の語学研修でたくさんのことを学ぶことができました。まず、最初に学んだことは言葉の大切さです。私は、最初、ドイツ語や英語が全然話せず買い物もうまくできませんでした。しかし、日々少しずつ勉強していくことで、結構慣れることができました。また、英語を話せないと本当に何もできない、ということも今回の研修で学びました。外国の友達などと一緒に行動することが多々ありましたが、会話はもちろんすべて英語でした。しかし、外国の友達がゆっくり話してくれたり、やさしい英語を使ってくれたおかげで楽しく会話をすることができ、とてもいい友達になれました。</p> <p>次に、文化の違いも痛感しました。日本で売っているものや普段普通に食べているものが全然食べることができなかつたりしました。しかし、うまくドイツの生活に対応でき、食事の面では日本よりもドイツのほうが充実しているなどと思えるほ</p> |

|     |  |
|-----|--|
|     | どまで慣れることができました。今回の語学研修でドイツに行けて本当に良かったなと思いました。            |
| 謝 辞 | 今回このような経験をさせてくれて、本当にありがとうございました。この経験をこれからの将来に生かしていきたいです。 |



平成28年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名  
語学研修プログラム参加旅費の助成（ドイツ）

2 事業概要

(1) 研修先

フライブルク大学

(2) 研修期間

2016年9月1日（木）～ 9月30日（金）

(3) 助成対象・金額

5万円

3 助成対象者報告

|         |  |
|---------|--|
| 所属専攻・学年 | バイオ環境・マテリアル系 1年  |
| 氏名      | 木谷 優輝  |
| 報告      | <p>約1ヶ月、長いようで短い間でしたが、これから先、忘れることが出来ない最高の経験を積むことができました。</p> <p>ドイツに着いたとき、街並み、人、見るものすべてが新鮮に見えて、ドイツに到着する前に抱えていた不安が少し和らいだのを覚えています。初めて自分の寮のルームメイトと会ったとき、お互いの夢などの話をした時、自分の英語の力がどれだけ弱いか、とても痛感しました。(何度、翻訳機能に助けられたことか…)1人でお店に入り、ご飯を食べに行った時も同じく痛感しました。だからこそ、失敗しからこそ、もっと多くのことを学び、自分のものにしたい、身に着きたいという気持ちが高まり、努力することができました。</p> <p>午前中のドイツ語の勉強は初級コースでしたが、この経験のおかげで更に、ドイツ語が面白いと思えるようになりました。</p> <p>日本では、絶対に食べれないであろう食べ物もあり、感動し</p> |

|            |   |
|------------|---|
|            | <p>たし、とても美味しかったです。ドイツでしか食べれないと思うと、残念でしょうがありません。</p> <p>ドイツに行ったことは、自分の視野を大きく広げることでもでき、また行きたいという気持ちが大きくなりました。</p>   |
| <p>謝 辞</p> | <p>今回の語学研修で今までに知ることができなかったドイツのこと、その地域でしか食べられない料理、テレビなどで見るのとはまるで違う、自分の目で見た実際の建物、このような機会がなければ決してわからないことばかりでした。この経験を生かして多くのことに挑んでいきたいと思います。本当にありがとうございました。</p> |

平成28年度 K I Tげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名

語学研修プログラム参加旅費の助成（ドイツ）

2 事業概要

(1) 研修先

フライブルク大学

(2) 研修期間

2016年9月1日（木）～ 9月30日（金）

(3) 助成対象・金額

5万円

3 助成対象者報告

|         |  |
|---------|--|
| 所属専攻・学年 | バイオ環境・マテリアル系 1年  |
| 氏名      | 松浦 裕二  |
| 報告      | <p>この4週間で私は世界の広さを少しだけ知り、とても大きな経験を積むことができました。研修以前はコミュニケーション能力に自信がなく、不安を感じていました。実際、大学内の学生と話そうと思っても、言いたい言葉を英語に変換し文章にしようとして、緊張して変な間を空けてしまったり、言いたい事を言い切るまでに時間がかかってしまったりと、講義で書いたり聞いたりするのと実際に話してみるのとではまったく違うことを身をもって知りました。しかし、宿舎内の学生から“思ったことを言って繋げればいい”みたいなことを言われました。</p> <p>確かに、今まで形式にとらわれすぎていた気がしました。実際に話してみると、ちぐはぐな言葉だらけでしたが、すぐに相手に伝わりました。コミュニケーションの難しさを改めて知り、少しだけ達成感を得ました。たった一言のアドバイスでは</p> |

|            |  |
|------------|--|
|            | <p>ありますが、日本には気付かず、得られなかったことだと思います。また、語学、コミュニケーションという意味では、自分が普段使っている日本語を見直す良い機会にもなりました。</p>   |
| <p>謝 辞</p> | <p>今回の語学研修ではドイツ語の講義の他、ドイツ、フランス、スイスの伝統料理を食べ、ドイツの文化を学ぶことができました。今回の助成なしにはできなかったことばかりだったと思いますし、支えてもらっているという事実、そこから生まれる意識のおかげで、より真面目に、より楽しいものにすることができたと思います。本当にありがとうございました。</p> |

平成28年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名

語学研修プログラム参加旅費の助成（ドイツ）

2 事業概要

(1) 研修先

フライブルク大学

(2) 研修期間

2016年9月1日（木）～9月30日（金）

(3) 助成対象・金額

5万円

3 助成対象者報告

|         |   |
|---------|---|
| 所属専攻・学年 | マテリアル工学科 3年   |
| 氏 名     | 樋口 祐一朗  |
| 報 告     | <p>今回の語学研修は私の中の物事に関する視野を広げまた価値観を変えたという点でとても有益な1ヶ月間だったと思っています。具体的にはフライブルクは様々な人々が入り混じり生活しているという印象を受けました。</p> <p>また学生も自国の人同士でかたまらず英語によってたくさんの人たちと交友しているとも思いました。このことから世界の方は自分や他人の個性を認めていることが分かり、自分にも先入観や固定観念があったことに気づかされました。なので、自分はこれから自分や他人の個性を認められるようなより広い心を養っていきたいと思いました。</p> <p>また色々な国の人と関わることは自分にはない価値観を知ることができるのでとてもためになりましたが、ドイツ語はもちろんのこと英語に関しても他の国の留学生と比べて明らかに「聞く」また「話す」力が足りず、自分から一歩引いてしま</p> |

|     |  |
|-----|--|
|     | <p>う場面があったので、この留学をきっかけとしてどちらの言語もより上達できるように勉強したいとも思いました。</p>  |
| 謝 辞 | <p>今回このような経験を1ヶ月という長期間でさせていただき大変ありがとうございました。ドイツで経験した体感したことを基に異文化や世界の人々の持つ、よりグローバルな見方を日本で伝えていけたらと考えています。本当にありがとうございました。</p> |

平成28年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名

語学研修プログラム参加旅費の助成（ドイツ）

2 事業概要

(1) 研修先

フライブルク大学

(2) 研修期間

2016年9月1日（木）～ 9月30日（金）

(3) 助成対象・金額

5万円

3 助成対象者報告

|         |   |
|---------|---|
| 所属専攻・学年 | 機械・社会環境系 1年   |
| 氏名      | 古館 真衣   |
| 報告      | <p>私は今回の研修で様々なことを学ぶことができました。ドイツ語が前より上達したのはもちろんですが、今回の研修で色々な国の人と関わっていくうちに、英語も上達させることができました。そして、英語圏の人やそうではない国の人たちが英語を使ってコミュニケーションをしているのを見て、ドイツ語だけでなく英語もより勉強しなければならないと痛感しました。また、ほかの国からきている学生の方たちと関わることで、自分ももっと頑張らないといけない、そう思うきっかけにもなりました。</p> <p>私は将来、日本を出て工業系の仕事をしたいと思っています。そのためには英語が必要なのはもちろんですが、自分が将来やりたいことが工学分野ということは、工業国であるドイツの言語を話せるということが自分の強みになると思います。今回の研修を通してドイツ語と英語どちらも学ぶことができました</p> |

|        |  |
|--------|--|
|        | というのはとても貴重な経験となりました。この経験を今後<br>活かれば良いなと思います。   |
| 謝<br>辞 | 素晴らしい経験ができる機会を頂けて感謝しております。今<br>回の経験を、これから先、様々な国の人たちとかかわるときに<br>活かしていけたら良いなと思います。この度は、本当にありが<br>とうございました。 |



平成28年度 K I Tげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名  
語学研修プログラム参加旅費の助成（ドイツ）

2 事業概要

(1) 研修先

フライブルク大学

(2) 研修期間

2016年9月1日（木）～ 9月30日（金）

(3) 助成対象・金額

5万円

3 助成対象者報告

|         |  |
|---------|--|
| 所属専攻・学年 | バイオ環境化学科 2年  |
| 氏名      | 山本 一輝  |
| 報告      | <p>私は今回のドイツでの語学研修で多くの事を知り、学びました。</p> <p>ドイツ語を学び、その文化に触れることは勿論の事、英語に対する意識向上や多少の語彙力向上に自覚を持ってました。国外と言うこともあり私にとっては見る物の殆どが新鮮なことばかりで驚いたのは当然のことながら深く感銘を受けました。食している物の習慣の違い、町並みや人々の考え方などの違い、通貨や日本との物価の違いなど、まだまだ語れる程にこの語学研修で得られた物というのは国内では分からない“未知”という名の経験だと私は実感しております。様々な国の様々な思考、言葉を持った人との交流するのは困難ではありましたが互いに理解を共有し、笑い握手をした時の感動は、生涯忘れることのない心の糧となるでしょう。</p> <p>そのために今回の語学研修を終えて、私の考え方も多少変わ</p> |

|     |   |
|-----|---|
|     | <p>り始めてきたと思っています。自身が将来国外に出た時を思うとやはり外国語を学ぶのは必然的になるのでより一層語学に精進していきたいと考えており、いつの日か世界中の人々と仲良くなり他国や日本の事について語っていきたいと考えております。</p> |
| 謝 辞 | <p>今回はこのような貴重な経験をさせていただきまして誠にありがとうございます。今回の語学研修を生かして、多くの方々に異文化交流の良さを少しでも伝えていけたらと心から思っております。</p>                           |

平成28年度 K I Tげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名

語学研修プログラム参加旅費の助成（ドイツ）

2 事業概要

(1) 研修先

フライブルク大学

(2) 研修期間

2016年9月1日（木）～ 9月30日（金）

(3) 助成対象・金額

5万円

3 助成対象者報告

|         |   |
|---------|---|
| 所属専攻・学年 | バイオ環境・マテリアル系 1年   |
| 氏名      | 近藤 拓実   |
| 報告      | <p>今回僕たちが行ったフライブルク大学は500年以上の歴史のあるとても美しい大学でした。</p> <p>私たちはアメリカ、スペイン、ニュージーランド、イスラエルなど様々な国の人たちと一緒にドイツ語を学ぶなかで様々なことを感じました。僕が驚いたことは、授業の初日、お互い初めて会ったとは思えないくらい元気に話をしていたことです。僕がドイツ語学研修に参加した理由の一つが、英語が上手になりたいからでした。その為ここで話さなくては意味がないと自分なりに頑張ってお話しましたが、とても緊張しました。</p> <p>その数日後から僕ともう一人の友人とで寮で卓球をするのが習慣になったのですが、そこでもたくさんの外国人とスポーツを通して交流することができました。</p> <p>また、フライブルク市内散策や大学の開催のエクスカージョンなどでドイツの様々な事を見たり感じたりしました。ドイツ</p> |

|            |  |
|------------|--|
|            | <p>は8か国と接しているということもありほかの国にも行ったのですが、フランスのストラスブールは特に景色がきれいでとても印象に残っています。</p> <p>僕はドイツ語学研修中、色々な人と出会いその人たちの考えを聞いたり、素晴らしい景色を見たり、日本にはない習慣を学ぶことができたりととても良い刺激になりました。この一か月間は一生忘れることのできないとても貴重な経験になりました。</p> |
| <p>謝 辞</p> | <p>今回は私たちのドイツ語学研修への助成金、本当にありがとうございました。このような経験はなかなかできるものではないと思うのでこの経験を人生の糧にして今後の人生に生かしていこうと思います。</p>  |

平成28年度 K I Tげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名  
語学研修プログラム参加旅費の助成（ドイツ）

2 事業概要

(1) 研修先

フライブルク大学

(2) 研修期間

2016年9月1日（木）～ 9月30日（金）

(3) 助成対象・金額

5万円

3 助成対象者報告

|         |  |
|---------|--|
| 所属専攻・学年 | 情報システム工学科 2年   |
| 氏 名     | 近藤 太郎  |
| 報 告     | <p>私は今回の語学研修で多くのことを学びました。</p> <p>授業は午前のみでドイツ語を英語で習うといった形式で行われました。他の国の留学生もおり日本人5人と外国人9人といった割合でした。話によると昨年などの8月のドイツ研修では日本人の割合が多くを占めすぎていたと聞き9月にドイツ研修があってよかったと思いました。クラスの外国人とも交流しドイツ以外の国の文化を学ぶことが出来ました。なにより現地の町で生のドイツ語や英語を聞くことができたり外国人と話す機会があると日本に帰ってからもドイツ語や英語を学んでまたドイツに行きたいと思いました。</p> <p>一番驚いたことはドイツでは買い物をした後はどんな時も「ありがとう」「さようなら」を欠かさないことです。それらを行うたびにとても心が温まりました。挨拶と感謝の気持ちを伝える機会が多いと思いました。日本でももっと意識しようと</p> |

|     |  |
|-----|--|
|     | <p>思いました。</p> <p>今回の研修を通して将来は外国の人々と仕事をしたいと思<br/>いました。なぜなら外国の人々と日本人との生活内容や考え方<br/>が全く異なっており、交流すると楽しかったからです。そのた<br/>めにも今後も外国語の勉強に精進していきたいです。</p> |
| 謝 辞 | <p>今回はこのような貴重な体験をさせていただきありがとう<br/>ございます。ドイツの文化や言葉をじかに学ぶことが出来これ<br/>からの人生においてよい経験となりました。本当にありがとう<br/>ございました。</p>                                |

平成28年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名  
語学研修プログラム参加旅費の助成（ドイツ）

2 事業概要

(1) 研修先

フライブルク大学

(2) 研修期間

2016年9月1日（木）～ 9月30日（金）

(3) 助成対象・金額

5万円

3 助成対象者報告

|         |  |
|---------|--|
| 所属専攻・学年 | マテリアル工学科 3年  |
| 氏 名     | 矢野 有希  |
| 報 告     | <p>1か月間のドイツでの語学研修で日本ではできないたくさんの経験をする事ができました。シェアルームでの生活、授業、買い物などそれだけでたくさんのドイツの文化に触れる事ができました。授業ではドイツ語を学んでいましたが、ドイツ語で会話はできないので、シェアルームの友達や授業のクラスの友達とは英語を使ってコミュニケーションをとっていたため、英語のスキルアップにもつながりました。一度に2か国語を勉強できたように思います。このプログラムに参加したことによってできた日本の友達もいましたし、国境を越えても友達を作ることができました。</p> <p>語学研修を終えて、英語やドイツ語を学びたい意欲がさらに増しました。日本人以外の方と話すことは、違う考え方を発見できたりしておもしろいです。しかし、今の私の語彙力ではまだ不十分なため、語彙力をしっかり身に着け、また海外に行っ</p> |

|     |  |
|-----|--|
|     | てみたいと思いました。第二ヶ国語、第三ヶ国語として、英語・ドイツ語をこれからも勉強していこうと思います。   |
| 謝 辞 | このたびは、貴重な経験をさせていただきありがとうございました。ドイツの文化に触れ、語学を学ぶという充実した1か月間を送ることができました。この経験をこれからの自分の人生に役に立てていきたいと思っています。 |



## 1 実施事業名

留学生派遣の助成

## 2 事業の概要

本学と地域との国際交流の推進を図るため、外国人留学生を地域の各種団体等へ派遣し、派遣先で行われている行事に参加させる。

## 3 参加者の様子

特別聴講学生向け講義「日本事情」「初級日本語」において、北見市立南小学校や北見北斗高校に外国人留学生を派遣し、学校間国際交流を行いました。

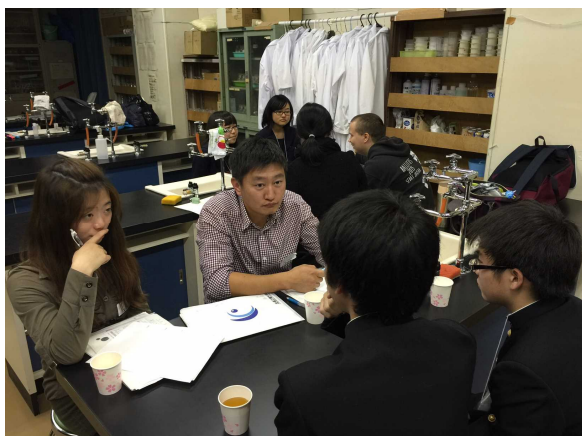
交流は、南小学校と2回、北見北斗高校と2回、計4回行いました。

南小学校での交流は、1回目は11月21日（月）、2回目は1月23日（月）に行いました。小学4～6年生の各クラスに留学生を2名ずつ配属し、給食や昼休みに小学生と会話しながら交流を行いました。また、各留学生から15分ずつの持ち時間で自国文化の紹介を行いました。小学生が理解できるように言葉遣いや発音に留意しながら発表を行い、熱心に聞く小学生を見て、留学生たちは大きな喜びと達成感を得ることができました。



北見北斗高校での交流は、1回目は10月19日(水)、2回目は12月12日(月)に行いました。留学生8人とサイエンスクラブの高校生8人と交流会を行い、留学生による「日本の高校と高校生のイメージ」や、自国での高校生活、日本の高校との違い等についての発表、そしてサイエンスクラブの高校生からは手掛けている研究の内容について発表を行い、意見交換をしました。

また、校内見学として校長室や家庭科調理室の見学の他、茶道部や剣道部など一部の部活動の体験もさせていただき、留学生にとって日本の高校を経験できる貴重な場となりました。



#### 4 謝辞

留学生派遣の実施にあたり、ご支援いただき、誠にありがとうございました。

皆様からのご支援により留学生に日本の給食体験や留学生の派遣をさせていただくことができました。また、数回に渡って地域の方と交流ができたことで、留学生は小中高生や職員の皆様と顔見知りになり、お互いに理解し合おうとする雰囲気が生まれ、素晴らしい国際交流の場をつくる事ができました。賛助いただいたKITげんき会の皆様に、国際交流センター一同、心より感謝を申し上げます。

今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

## 1 実施事業名

インターナショナルCアワー開催の助成

## 2 事業の概要

留学生が本学の学生・教職員のみならず市民との交流の場を持つことにより、国際交流の促進を図る。

毎回異なったプログラムを通して、留学生が日本の伝統芸能や四季折々の祝い事やしきたりに触れ、日本文化への理解を深めることや、日本人参加者が異文化について学ぶことを目的としている。

## 3 開催報告

|       |        |                |
|-------|--------|----------------|
| 2016年 | 4月22日  | 留学生歓迎会         |
| 2016年 | 5月26日  | 留学生の大学と街の紹介    |
| 2016年 | 6月29日  | 絵手紙            |
| 2016年 | 7月28日  | 流しそうめん         |
| 2016年 | 10月17日 | 留学生歓迎会&ハロウィン   |
| 2016年 | 11月29日 | ペルー共和国のお国紹介    |
| 2017年 | 1月19日  | 餅つき            |
| 2017年 | 2月9日   | インターナショナルコンサート |

## 4 謝辞

インターナショナルCアワーを開催するにあたり、ご支援いただき、誠にありがとうございました。おかげをもちまして、全8回を盛況のうちに終了することができました。

これも皆様のご支援あってのことと国際交流センター関係者一同、感謝いたしております。皆様からのご支援により、茶菓と飲み物を用意させていただきました。そのおかげで、温もり感のある場を提供できただけでなく、留学生と市民、一般学生を含めた交流を促進し、異文化理解を深めることができたと思っております。

今後ともご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

## 1 実施事業名

留学生交流イベントの助成

## 2 事業の概要

外国人留学生と地域の各種団体等との国際交流の推進を図るため、留学生並びに教職員、北見市民等との留学生交流イベント（留学生交流の夕べ）を行う。

## 3 参加者の様子

平成28年12月14日（水）、本学コミュニケーションアトリウムにおいて、毎年恒例となっている留学生交流イベント（留学生交流の夕べ）を開催しました。

日ごろから本学の国際交流にご協力いただいている150人を超える学内外からの方々にご参加いただき、交流を深めました。

はじめに高橋学長からの挨拶があり、引き続き卒業生の代表として、マレーシア人留学生のLIDYANA BINTI ROSLAN（リディアナ ビンティ ロスラン）さんから、留学生活での楽しかった思い出や、お世話になった方々への感謝の言葉などのスピーチがありました。



交流会では、卒業・修了する留学生のスライドの上映が行われました。各自が作成したスライドに合わせて、入学した頃に比べてはるかに流暢になった日本語で、北見での思い出を語ってくれました。

更にアトラクションでは、中国人留学生によるヌンチャク演武や、ペルー、ポーランド、フィンランドなどの留学生による合唱、台湾人留学生によるダンス披露、バングラデシュ人留学生による伝統衣装のファッションショー、そして最後にマレーシア人留学生によるバンド演奏が行われ、会場を大いに盛り上げてくれました。

また、昨年に続き、今年も茶道裏千家淡交会北見支部代表の中川様を初め、同支部の皆様にお茶席をご提供いただきました。



夕べに参加した留学生は、いつもお世話になっている方々との思い出話や記念撮影に花を咲かせ、和やかな雰囲気の中で閉会となりました。



#### 4 謝辞

留学生交流イベント（留学生交流の夕べ）を開催するにあたり、ご支援いただき、誠にありがとうございました。このように盛大な交流会ができたのも、ひとえに皆様のおかげと国際交流センター関係者一同、心より感謝申し上げます。

皆様からのご支援により、茶菓や飲み物、そして食事を用意させていただきました。また、各関係者への案内状や、当日配付しました冊子と集合写真の作成にも役立てさせていただきました。おかげをもちまして、参加者全員にとって心に残る交流会を提供できたと思っております。今後ともご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

## 平成28年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 学務課

### 1 実施事業名

就職支援行事の共催（地元企業合同説明会、地元企業合同セミナー）

### 2 事業の概要

人材確保が課題となっているオホーツク地域の企業と、本学学生や地元専門学校生の出逢いの場を提供・人材を確保するとともに、地域経済の活性化を目指す。

### 3 参加者の様子

地元企業合同説明会

平成28年9月24日（土）

本学アトリウム

地元企業合同セミナー

平成29年2月22日（水）

本学第二体育館



本学、オホーツク商工会議所協議会、北見市大卒者情報センター、そしてKITげんき会との共催で開催しました。各企業・団体が、一同に机を並べ、参加学生が興味のある企業へ立ち寄りブース形式での実施となりました。

平成28年9月開催の「地元企業合同説明会」は、平成29年3月卒業・修了予定学生を対象とした二度目の開催であり、時期的には未内定者に対する説明会となり、参加学生は少数でしたが、地元企業就職を支援する一助となりました。

また、平成29年2月開催の「地元企業合同セミナー」は、北見市を含む近隣6市町から38社、平成30年3月卒業・修了予定の本学学生や専門学校生ら約60名が参加し、「資料やネットではわからないことも多く聞けたのでよかった」といった声もありました。

#### 4 謝辞

地元企業合同説明会を共催で開催していただき、心から感謝申し上げます。皆様からの御協力により、学生と地元企業との出逢いの場を提供することができ、今後のオホーツク地域の人材創出に繋げていければと思っております。

今後とも、御協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

## 平成28年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 総務課

### 1 実施事業名

地域貢献活動、ボランティア活動等を行った学生表彰の助成

### 2 事業の概要

地域貢献活動等に積極的に参加した本学に在学する学生及び本学学生が組織する団体を表彰することで、学生生活の充実と地域の一層の活性化を図ることを目的とする。

### 3 表彰団体

北見工業大学男子カーリング部

### 4 表彰理由

ユニバーシアード日本代表決定戦に優勝し、本年1月にカザフスタンにて開催された、第28回ユニバーシアード冬季競技大会に日本代表として出場し、今大会銅メダルのノルウェー相手に勝利するなど、強豪国相手に互角に渡り合い、北見市及び北見工業大学の名前を世界にアピールしたことは、地域への貢献が顕著である。

### 5 謝辞

本学カーリング部男子チームへの表彰につきまして、誠にありがとうございました。また、副賞として、普段のトレーニングに欠かせない、カーリングブラシへ装着する「WCF 承認パッド」を贈答いただき、併せて御礼申し上げます。

ユニバーシアードにおける活躍も、KITげんき会からの御支援の賜物でございます。

今後とも、本学カーリング部への暖かい御支援、よろしくお願い申し上げます。





## 平成28年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 情報図書課

### 1 実施事業名

図書館配架用学生向け参考図書購入の助成

### 2 事業の概要

図書館に配架している参考図書で新版が出版されたものや、利用が見込まれる新規の参考図書を情報図書課内で選定し、購入した。

### 3 購入図書一覧

別紙のとおり

### 4 謝辞

皆様からのご厚志により、比較的高価な参考図書を購入することができました。これらの資料を本学図書館に配架することは、本学の教育や学生の学習支援に役立つものと考えております。この場をお借りし感謝申し上げます。

北見工業大学では、地域住民の方にも図書館をご利用いただけるよう、施設の開放や専門書以外の資料の充実に努めております。今後もより一層開かれた大学作りを目指し、地域と一体になれるよう邁進していきますので、応援のほどよろしくお願いいたします。

## 購入図書一覧（平成28年度KITげんき会）

| 書名                         | 金額(税込)  |
|----------------------------|---------|
| 磁気便覧                       | 45,900  |
| 有機合成実験法ハンドブック（第2版）         | 26,622  |
| 日本語シソーラス 第2版一類語検索辞典        | 13,770  |
| 日中辞典（第3版）                  | 7,344   |
| プラスチック読本（第21版）             | 5,464   |
| 「物理・化学」の法則・原理・公式がまとめてわかる事典 | 1,788   |
| 合計                         | 100,888 |

(888円については図書館経費で支出)

## 平成 28 年度 K I T げんき会事業実施報告書

担当課名： 総務課

### 1 実施事業名

女満別空港広告看板掲出料の助成

### 2 事業の概要

女満別空港 2 階出発ロビーへ広告看板の掲出

### 3 広告掲出状況

搭乗手続き待ちや見送り等の空港利用者に向けた広報を目的として、平成 17 年 4 月から継続して掲出しています。平成 29 年 3 月に一新したデザインは、学部改組後の 2 学科のイメージとロゴマークが映えるようにと作成しました。



### 4 謝辞

本事業に関し、平成 17 年度から継続してご支援いただき心から感謝申し上げます。今後も地域に輝き、地域に貢献する大学として邁進していく所存ですので引き続きご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。

# 平成28年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名  
北見ぼんちまつり参加者への助成

2 事業の概要  
北見市恒例の夏祭りイベント「北見ぼんちまつり舞踊パレード」に学生及び教職員によるチームで参加し、本学の存在をアピールするとともに、地域のイベントへ貢献しました。

3 参加者の様子



柴野副学長を団長とする北見工大チーム

4 謝辞

本事業にご支援をいただき心から感謝申し上げます。

これからも地域との交流事業に積極的に参加し、学生の元気で地域を盛り上げていきたいと思っておりますので、今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます。

北見工業大学後援会「KITげんき会」

平成28年度決算書

収入の部

| 項 目      | 予 算       | 決 算                         | 備 考  |
|----------|-----------|-----------------------------|--|
| 会 費      | 2,200,000 | 1,943,000 円                 | 個人会員(39件) 183,000 円<br>法人会員(95件) 1,760,000 |
| 寄 附 金 等  | 1,000,000 | 774,000 円                   | 同窓会会員からの寄附(123件) 774,000                   |
| 雑 収 入    | 500       | 1,057 円<br>(内訳) 29<br>1,028 | 預金利息<br>残高証明書手数料発行手数料の振替                   |
| 前年度からの繰越 | 3,481,451 | 3,481,451 円                 |  |
| 合 計      | 6,681,951 | 6,199,508 円                 |  |


支出の部

| 項 目                | 予 算            | 決 算            | 備 考  |
|--------------------|----------------|----------------|--|
| 後援会運営費             | 320,000        | 208,958 円      | 円  |
| 通 信 費              | (内訳) 200,000   | (内訳) 123,910   | 印刷物郵送料、返信用葉書   |
| 事 務 費              | 20,000         | 9,448          | 事務諸雑費、振込手数料  |
| 印 刷 費              | 100,000        | 75,600         | リーフレット印刷費  |
| 大学援助費              | 3,078,000      | 2,429,281 円    |  |
| 学生に対する支援           | (内訳) 1,890,000 | (内訳) 1,289,881 | 語学研修プログラム参加旅費の助成 700,000<br>30,000円×5人=150,000円(台湾)<br>50,000円×11人=550,000円(ドイツ)<br>留学生派遣の助成 12,618<br>インターナショナルCアワー開催の助成 91,448<br>留学生交流イベントの助成 238,315<br>地域貢献活動、ボランティア活動等を行った学生表彰の助成 147,500<br>図書館配架用学生向け参考図書購入の助成 100,000 |
| 大学広報等への支援          | 1,008,000      | 961,200        | 女満別空港広告看板掲出料の助成 961,200  |
| 北見ぼんちまつり<br>参加への支援 | 180,000        | 178,200        | 北見ぼんちまつり参加者への助成 178,200  |
| 予 備 費              | 3,283,951      | 0 円            |  |
| 支 出 計              |                | 2,638,239      |  |
| 次年度繰越金             |                | 3,561,269 円    |  |
| 合 計                | 6,681,951      | 6,199,508 円    |  |

## 監 査 報 告 書

本会規約第6条第5項に基づき、平成28年度北見工業大学後援会収支簿及び預金通帳類に関する監査を行った結果、適正に処理されていると認めましたので報告いたします。

平成29年6月14日

監 事 小澤 實之郎 

監 事 高田 剛夫 

# 北見工業大学後援会「KITげんき会」

## 平成29年度事業計画書（案）

| 事業     | 摘要   |
|--------|--|
| 1 会議   |  |
| 1) 総会  | 年1回開催  |
| 2 支援事業 | <p>1) 学生に対する支援</p> <p>語学研修プログラム参加旅費の助成</p> <p>短期交流研修（派遣）の助成</p> <p>留学生派遣の助成</p> <p>インターナショナルCアワー開催の助成</p> <p>留学生交流イベントの助成</p> <p>就職支援助成（地元企業合同セミナー）</p> <p>地域貢献活動、ボランティア活動等を行った学生表彰の助成</p> <p>図書館配架用学生向け参考図書購入の助成</p> <p>2) 大学広報等への支援</p> <p>女満別空港広告看板掲出料の助成</p> <p>3) 北見ぼんちまつり参加への支援</p> <p>北見ぼんちまつり参加者への助成</p> |



北見工業大学後援会「KITげんき会」

平成29年度予算書(案)

収入の部

| 項 目      | 予 算         | 備 考                            |
|----------|-------------|--------------------------------|
| 会 費      | 2,200,000 円 | 個人会員(100口 × 3,000円) 300,000 円  |
|          |             | 法人会員(190口 × 10,000円) 1,900,000 |
| 寄 附 金 等  | 1,000,000 円 | 同窓会会員からの寄附 1,000,000           |
| 雑 収 入    | 500 円       | 預金利息等 500                      |
| 前年度からの繰越 | 3,561,269 円 |                                |
| 合 計      | 6,761,769 円 |                                |

支出の部

| 項 目                | 予 算          | 備 考   |
|--------------------|--------------|---|
| 後援会運営費             | 270,000 円    | 円   |
| 通 信 費              | (内訳) 150,000 | 印刷物郵送料、返信用葉書 150,000  |
| 事 務 費              | 20,000       | 事務諸雑費、振込手数料 ほか 20,000   |
| 印 刷 費              | 100,000      | 払込取扱票印刷 ほか 100,000  |
| 大 学 援 助 費          | 3,308,000 円  |   |
| 学生に対する支援           | (内訳) 800,000 | 語学研修プログラム参加旅費の助成 800,000<br>30,000円×5人=150,000円(中国)<br>50,000円×5人=250,000円(オーストラリア)<br>50,000円×8人=400,000円(ドイツ) |
|                    | 500,000      | 短期交流研修(派遣)の助成 500,000<br>50,000円×10人=500,000円   |
|                    | 50,000       | 留学生派遣の助成 50,000   |
|                    | 120,000      | インターナショナルCアワー開催の助成 120,000  |
|                    | 242,000      | 留学生交流イベントの助成 242,000  |
|                    | 300,000      | 就職支援助成(地元企業合同セミナー) 300,000  |
|                    | 300,000      | 地域貢献活動、ボランティア活動等を行った学生表彰の助成 300,000   |
|                    | 200,000      | 図書館配架用学生向け参考図書購入の助成 200,000   |
| 大学広報等への支援          | 616,000      | 女満別空港広告看板掲出料の助成 616,000   |
| 北見ぼんちまつり<br>参加への支援 | 180,000      | 北見ぼんちまつり参加者への助成 180,000   |
| 予 備 費              | 3,183,769 円  |   |
| 合 計                | 6,761,769 円  |   |

## 北見工業大学後援会「KITげんき会」規約

(名 称)

第1条 本会は、北見工業大学後援会「KITげんき会」と称する。

(目 的)

第2条 本会は、地域と同窓会が一体となって、北見工業大学の発展及び学生の生活向上のための援助等に協力することを目的とする。

(事 業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- 一 北見工業大学の発展のための援助
- 二 北見工業大学の学生の生活向上等のための援助
- 三 会費、寄付金品の受理及び処理
- 四 その他必要な事項

(組 織)

第4条 本会は、次に掲げる会員をもって組織する。

- 一 個人会員
- 二 法人会員

(役 員)

第5条 本会に次の役員を置く。

- 一 会 長 1人
- 二 副 会 長 若干人
- 三 常務理事 1人
- 四 理 事 若干人
- 五 監 事 2人

2 役員は、総会において選任し、又は解任する。

(職 務)

第6条 会長は、本会を代表し、会務を統括するとともに会議を招集して、その議長となる。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。
- 3 常務理事は、会計及び本会の運営上重要な事項を処理する。
- 4 理事は、本会の運営上必要な事項を審議する。
- 5 監事は、本会の会計を監査する。

(任 期)

第7条 役員任期は2年とする。但し、再任を妨げない。

2 役員に欠員が生じた場合は、必要に応じて補充する。但し、補充された役員任期は、前任者の残任期間とする。

(総会及び役員会)

第8条 総会及び役員会は、年1回開催しなければならない。

但し、必要に応じて会長が臨時に召集することができる。

- 2 総会に次の事項を付議する。
  - 一 役員を選任、解任

- 二 事業計画及び事業報告
- 三 予算及び決算
- 四 規約の制定及び改廃
- 五 その他本会の運営に必要な事項

- 3 役員会は、会長、副会長、常務理事、理事をもって構成する。
- 4 役員会は、本会の事業運営及び総会に付議すべき事項を審議するものとする。
- 5 総会及び役員会の議長は、会長がその任にあたる。
- 6 総会及び役員会の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(顧問)

第9条 本会に顧問を置くことができる。

- 2 顧問は、役員会の議を経て、会長が委嘱する。

(事務局)

第10条 本会の事務を処理するため、事務局を北見市公園町165番地北見工業大学内に置く。

- 2 事務局には、次の職員を置く。

- 一 事務局長
- 二 事務局員

- 3 事務局長は、常務理事の職務を補佐することとし、会長が北見工業大学の教職員の中から委嘱する。

- 4 事務局員は、会長が委嘱する。

(会計)

第11条 本会の目的の達成及び運営に資する資金は、会員の会費、寄付金等をもって充てる。

- 2 会員の会費は、次に掲げるとおりとし、毎年、定められた時期に納入する。

- 一 個人会員 一口 3,000円
- 二 法人会員 一口 10,000円

- 3 本会の会計は、後援会運営費と大学援助費に区分して経理する。

- 4 後援会運営費は、後援会運営上必要な経費をいう。

- 5 大学援助費は、学術振興、国際交流、学生の生活向上等に必要な経費をいう。

(会計年度)

第12条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(雑則)

第13条 この規約に定めるもののほか、本会に関し必要な事項は、役員会が別に定める。

#### 附 則

- 1. この規約は、平成17年11月30日から施行する。
- 2. 初年度の会計年度は設立総会日より平成18年3月31日までとする。
- 3. 初年度の役員任期は設立総会日(平成17年11月30日)より平成20年3月31日までとする。